



**会長** 岡島達雄  
**副会長** 中武泰一郎  
**幹事** 武末喜久治  
**例会日** 毎週木曜日 12:30～  
**例会場** ホテル泉屋 2F  
**事務所** 宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋1368-4  
 ホテル泉屋内 TEL/FAX 0983-21-1636

## 第1688回 平成23年4月14日プログラム

- |                       |           |
|-----------------------|-----------|
| 1. 点 鐘                | 7. BOX 披露 |
| 2. ロータリーソング<br>四つのテスト | 8. 各委員会報告 |
| 3. ビジター・ゲスト紹介         | 9. 次週例会案内 |
| 4. 会長の時間              | 10. 点 鐘   |
| 5. 幹事報告               |           |
| 6. 出席報告               |           |

**2730地区ガバナー** 伊藤 学而  
**中部分区ガバナー補佐** 岩切 昇

### 2730地区テーマ

クラブを活性化し、地域と時代の要請に応えよう

### 高鍋ロータリークラブテーマ

品位のある楽しいクラブを実現し、社会の要求にこたえよう

### 4月の月間テーマ

ロータリー雑誌月間

本日の例会案内 早朝例会

6:45～7:00 朝食 (レストランおぐら)  
 7:00～8:00 ロータリー公園清掃

次週の例会案内; 4月21日(木)1689回例会

- ・雑誌月間卓話—広報・雑誌・IT委員長 日高 茂君
- ・血圧測定 ・終了後プログラム委員会

## 第1687回 例会内容

### ■会長の時間

会長 岡島達雄君

#### 雑誌月間

東日本災害が一つの段階にきたようである。災害の直接の要因となった地震などの強さや頻度は低下してきたが、エネルギーの再配分が全て終わったわけではないので油断は禁物である。原発事故のほうは、綱渡りのような応急措置が一つの段階にきたようではあるが、今後も年に渡る未知で冷静で危険な対策を続けなければならない。しかしここで今何を、と考えるとき、確かに無駄は省いて回せるものは現地に回すとしても、仕事や生活があまりにも萎縮してしまうとかえって現地の応援にはならない。

4月は雑誌月間である。

雑誌「ロータリーの友」を読むことは、ロータリアンの3大義務の一つである。「友」を購読することにより、ロータリーライフを深め、国際ロータリーと直結しているという認識を通してロータリーの綱領を推進することができる。別の言い方をすれば、ロータリー情報を共有し、地域や世界との連帯感が醸成されるとともに、公開討論の場ともなっている。

1952年わが国のロータリーが2地区に分かれたのになみ、わが国ロータリアンの意識を統一するために「友」が1953年から発刊された。2003年からは「友」のホー



### ■幹事報告

幹事 武末喜久治君

<文書案内>

- \*東児湯消防組合より異動案内  
新消防長 村田龍男様
- \*九州新幹線全線開業イベント  
記念帽子販売案内  
金額2,800円(4/28〆切)



- \*佐土原RC会員訃報のお知らせ (垂水敏雄様ご逝去)

<理事会報告>

1. 東日本大震災義援金の個人負担の件  
1人 10,000円を徴収(分割可) 承認
2. クラブのホームページの件
  - ①現在のHPはクラブ概要等がなくブログのみ
  - ②前任者HP担当の河野君退会で作成困難
  - ③将来的に考えリニューアルをウェブ岩元に依頼  
84,000円をニコニコより支出することで承認
3. 災害支援のランドセルの件 個人的支援で承認

### 結婚記念のお祝いセレモニー



## ◆出席報告

出席委員会 向山健一君

出席状況

会 員 数	40 名
出席 会 員 数	34 名
ホー ム 出 席 率	87.18%
前々回修正出席率	85.00%



## ◆BOX披露

親睦活動委員会 宮元武次君

<ニコニコ・財団・米山BOX>

\*中武泰一郎君 誕生日祝と

結婚記念祝のお返し。

\*武末喜久治君 結婚記念祝の

お返しとして。

\*桑野倫夫君 結婚記念祝のお礼として。

\*岩下盛朗君 結婚記念祝のお礼として。

\*岩切 洋君 結婚記念祝のお礼。有難うございます。

\*木村貞夫君 結婚記念祝のお返し。今年4月3日で36  
回目。美人で働き者の奥さんのおかげです。感謝。



## ■会員卓話

茂木 晃君

先ず、宮崎では珍しく、  
名前のことから始めます。

私の出身である群馬県に  
は沢山あります。それも私  
のように「モテギ」という  
のと「モギ」と読むところ  
が同じ群馬で存在します。



終戦を契機として私の目標が大きく変わりました。現  
在までの職を選ぶに至った流れをお話しました。

次はロータリーの話です。

今の仕事は、会員選考ですが、もう一つローターアク  
ト委員をやっています。今日はアクトの話させて下さ  
い。発端は、会員に黒木君と当時のアクト地区代表黒木  
君との出会いにあり、一気にアクト設立の機運が高まり、  
多分25代井上会長時代、他クラブ見学から始まり、西都  
クラブの当時のアクト委員長が熱心に教えて下さって、  
2002年3月24日認証状伝達式を迎えることが出来まし  
た(26代楠元会長)。アクト会員は20名で、当時の我が  
クラブメンバーの紹介で、信用金庫、黒木本店、郵便局、  
九電、役場、会員の娘さん達などで、活動に入りました。  
活動は活発で、分区代理を引き受けるまでになりました。

昨年のアクトの地区大会では、鍋倉君がMVPを受賞  
したことはうれしく、励みになったことと思います。

例会場は、ホテル泉屋—社会福祉協議会(筏)—宮日  
支局となりました。宮日支局を多分無料で?現在まで使  
わせて頂いており大変ありがたいことです。それに、こ  
こまで続けてこられたのに、歴代のアクト委員長の努力  
は勿論、河原君の努力を特筆したい。アクト地区副委員  
長を長年引き受け大変ご苦労だったと思います。

5周年は2007年4月、ホテル泉屋にて行いました。

次、10周年は2012年になります。

さて、現在アクト会員が4月になり、有力女性会員が  
都城へ転勤で5名(男性4名、女性1名)となりました。

何をするにも人数不足です。アクトメンバーは30歳  
にて卒業という最大のネックがあります。発足当時から  
会員補充が必要な事は分かっておりました。現実には厳しい  
です。どうか、会員の皆様のご推薦、ご支援を心より  
お願い申し上げます。

## ■会員卓話

黒木敏之君

東日本大震災では多くの義  
援金が集まっているようです。

寄付と言えば、最近ではタ  
イガーマスク・伊達直人現象  
がありました。伊達直人名で  
恵まれない子供たちの施設に  
ランドセルや現金を寄付する  
という人が沢山出現した現象です。この現象はマスコミ  
でも好意的に取り上げられ、「これをきっかけに日本の寄  
付文化の在り方が変わった」という議論もなされました。



今回の義援金でも注目の話題がありました。先ずはユ  
ニクロ社長・柳井正氏の10億円の個人寄付です。次にソ  
フトバンクの孫正義氏の100億円の寄付です。孫氏は自  
分の役員給与1億円を引退するまで毎年寄付し続ける  
というのです。勿論、フォーブスの2011年度世界長者番付  
で、日本人の1位は孫正義氏、2位は柳井正氏であった  
訳で寄付金の多さも納得です。でも、それにしてもすご  
い金額です。「富んでは其の興うる所を視、貧しうしては  
其の取らざる所を視る」という金銭面での人物観点法が  
古事にありますが、まさに志ある経営者のお金の使い方  
を見せて頂いた観があります。

また、外国からの義援金では、台湾の100億円という  
金額に驚きました。米国の90億円という金額と比較する  
と大変に多い金額でした。台湾は中国との複雑な問題も  
あり、一番身近な民主国家の日本との信頼関係を大事に  
したいという意図があったという分析ですが、日本人と  
しては今回の台湾の友情を心に刻み、決して忘れてはな  
らないと思った次第でした。

日本には2度国難を乗り越えた歴史があります。明治  
維新と終戦です。特に明治維新では、地方の志を持った  
無名の若者達が大活躍し、日本の近代化を成し遂げたこ  
とが思い起こされます。当時の若者が活躍した背景には、  
地方の諸藩が個性豊かな教育文化を持ち独自の人材育成  
をしていたことが見逃せません。

今回の震災による国難において、昨今の画一化された  
教育を受けた若者はどう行動するのか、その点を悲観的  
に指摘しておられる意見が気になりました。また、平成  
の大合併も災害対策の連携や避難通報を遅れさせたとい  
う意見も気になったところです。

日本は、経済が失速し、世界での存在感を失いかけて  
いました。大災害という悲劇ではありますが、今再び、  
日本の復元力が試され、世界中から注目を浴びています。

今回の大災害を起点に、多くの若者や志ある経営者が  
奮起し、世界から高く評価される新たな価値観を持った  
「素晴らしい国・日本」を誕生させる3度目の奇跡が起  
きることを願わずにはいられません。